

国際日本学部 2023 年度夏期 海外ボランティア・プログラム

参加報告書（インドネシア・ブディルフル大学）

① 本プログラム参加のきっかけ・目的について（200 字以上）

英語力を伸ばしたいという思いはもちろんのこと、2 年生で長期留学に行きたいと考えており、今まで留学経験がなかったということもあり、来年の留学の準備も踏まえて 1 年生のうちに夏休みを使って留学に行っておきたいと思っていたからです。また、ボランティアを通して、人のために何か行動をしたり、日本文化を伝えたいという思いがありました。そして、元々イスラム教に興味があり、実際に現地に行って学びたいと感じていたため、ムスリムの多いインドネシアが留学先であるこのプログラムを選びました。

② プログラム内容について（各項目 200 字以上）

1. ボランティア活動・ワークショップについて

ボランティア活動では、現地の料理や日本食を自分たちで作ってお弁当にし、道路でバイクや車で走っている現地の方たちに配りました。ワークショップの内容は、先生やバディたちからアドバイスを貰いながら自分たちで詳細を考えました。浴衣を着て、現地の高校生たちに木目込み、たこ焼きの作り方を日本語も交えながら教えて、最後には彼らたちのみで実践してもらいました。また、簡単な日本語や日常会話を伝言ゲームと組み合わせながら教えました。書道を使いながら、比較的書きやすいカタカナを教えました。中学生とは折り紙で紙飛行機、手裏剣などを作って、対決をして交流を深めました。そして、日本から持ってきたお菓子などを食べてもらいました。

2. 授業（インドネシアの歴史や文化、インドネシア語）について

インドネシアの歴史は、博物館の見学でバディたちから説明してもらいながら学びました。また、Batik というインドネシアの特産品である蠟つけ染め体験をしました。オープニングセレモニーではインドネシアの伝統衣装を着て踊るダンスを見ました。フェアウェルパーティーでは、私たちがインドネシア各地の伝統衣装を着てダンスを披露しました。また、Wayang Golek というインドネシアの西ジャワの伝統的な人形芸術を見て、実際に Angklung という竹製の打楽器で演奏しました。インドネシア語の授業では、挨拶から簡単な文まで習い話せるようになりました。インドネシアの歌も練習して歌詞を見ずに歌えるようになりました。そして、企業見学にも行きました。バイク文化であったり、イスラム教についてなど 3 週間インドネシアで過ごすことで様々なことを学ぶことができました。

3. フィールドトリップ（バンドンツアー）について

1 泊 2 日で、車で数時間かけて行きました。バンドンは日本でいう軽井沢のような場所といわれており、ジャカルタと比べると涼しかったです。また、インドネシアで唯一雨を体験できた場所でもありました。ホテルに泊まり、朝食はホテルのビュッフェでした。1 日目に行った場所には仮装をした人たちが沢山いるエリアがありハロウィンのように楽しかったです。2 日目には西ジャワの伝統的な人形劇を見ました。帰りには大きなショッピングモールに寄り、夜ご飯を食べたり、お土産を買いました。ジャカルタ以外の都市

についても知ることができ、バディたちとの仲も深められ非常に良い体験でした。

③ 本プログラムを終えての学習成果・感想（200字以上）

3週間現地のバディたちと話していくうちに、初めは英語を聞き取るのも話すのも難しかったのが、徐々に慣れていき、成長を感じることができました。バディたちは本当に優しく、私が英語を考えながらゆっくり話していても、しっかりと聞いてくれたり、言いたいと思っている単語を察して教えてくれたので、ためらわずに英語を話すことができ、スピーキングに対する苦手意識がなくなりました。しかし、自分の力不足で言いたいことを上手く言えないことが何度もあり、「言えたらもっと話が盛り上がったろうな、もっと詳しく伝えられたのにな」と悔しく思うことが多々あり、今ではその経験が英語を勉強するモチベーションに繋がっています。また、文化の違いだったり、人によって宗教の信仰心が大きく違うなどといったことを自分の目で見て学べたのが面白かったです。ボランティアでは、直接彼らの喜ぶ姿を見ることができ、とてもやりがいがありました。

④ 現地での生活等について（今後参加する学生へのアドバイス含む）

1. 滞在先の治安・キャンパス・施設について

治安は良かったと思います。キャンパスや施設的环境も整っていました。ただ、たまにトイレにトイレットペーパーがない時があるのでティッシュを多めに持っていくと良いです。

2. 食事について

油が多いものや、辛い物が多かったです。食事は寮まで持ってきてくれたり、レストランに連れて行ってくれたりしてくれて、自分たちで用意しなければならない時は少なかったです。自分で用意する時は近くのスーパーで買ったり grab というウーバーイーツのようなアプリで頼んでいました。お米が出てくるのが多かったり、日本食が沢山あるので私は日本食が恋しくなったりはしませんでした。

3. 交通手段について

基本は大学の車で移動していました。grab でタクシーを手配することもありました。安全で、驚くほど安いのでおすすめです。

4. 通信環境について

私は 15GB の SIM カードを持っていき、丁度良かったです。寮には Wi-Fi がありましたが、部屋によっては繋がりにくいところもありました。SIM カードは場所は限られますが現地でも買うことができます。

5. 買い物事情について

近くのスーパーや少し遠くの大きなモールで食料調達したりお土産を買いました。英語が通じない場合も多かったです。

6. 医療事情について

日本語対応の病院があるので安心できました。環境や食の変化で体調を崩すことがあったので、解熱剤、胃腸薬、整腸剤などを持っていくと安心です。

7. その他、生活等に関して参考となることがあれば教えてください。

モールに大きなランドリーがあるのですが、遠かったので寮の近くの歩いて行けるランドリーを使っていました。しかし、混んでいて数日かかることもあったので、下着などは多めに持っていくと良いと思います。インドネシアには日本を好きな方が多く、また明るくて優しい方ばかりなので、特に、留学をしたいけど今まで留学をしたことがなくて不安な人にもおすすめです。

以 上